



2019 AUTUMN No.47

# SEASON



写真：創価大学図書館指針制定 15 周年記念展示より

ISSN 1349-3760

12 コラム 岩倉 依子 教授

15 選書ツアーを開催

16 創価大学図書館指針制定 15 周年記念展示

18 Library information 2019  
AUTUMN-WINTER

10 図書館掲示板



## 図書館と書籍の歴史 —伝統と革新—

ドイツ語の『ヴェンツェル聖書』(14世紀末、プラハ)写本と。

今年の春、パリのノートル・ダム大聖堂が炎上した。12世紀からそこに建ち続ける巨大な聖堂が、真っ赤な炎に包まれ、中央にそびえ立つ尖塔が、身廊を覆う大屋根が、まるで積み木細工のように無残に崩れ落ちていった。まれに見るこの大惨事を世界中の人々が固唾をのんで見守ったが、中世ヨーロッパでは聖堂の火災は決してめずらしい出来事ではなかった。そんなリアルな光景として思い出されるのが、映画『薔薇の名前』の炎上シーンである。

中世末期にあたる14世紀前半、北イタリアの修道院を舞台に展開した这一大ミステリーは、修道院の炎上をもって幕を下ろした。ウンベルト・エーコの原作によれば、修道院は三日三晩燃え続け、聖堂もなにもかも廃墟と化したという。最初に火を噴いたのは、修道院の「図書館」である。それは、修道院の一角にある巨大な塔だった。そこは古い書籍が山と積まれた古今東西の知識の宝庫だったが、修道院はすでに



セント・オールバンズ修道院のラテン語聖書  
(1330年頃、パリ)  
内藤裕史『中世彩飾写本の世界』美術出版社、  
2004年、口絵2。

中世前期から、書籍を保存し生産する伝統的任務を負っていたのである。中世の書籍は一冊一冊が、修道士あるいは職人の手によって、美しい文字と挿絵で羊皮紙に書かれた、それ自体貴重な「写本」であった。図書館とは、そもそもそれらの書籍を保存する場所だったのである。その図書館の炎上は、現代の図書館の火災以上に深刻な意味をもっていたといえるだろう。ショーン・コネリー扮する主人公の修道士が、持てる限りの写本を抱えて、図書館の燃え盛る炎の中から煤にまみれて生還した場面は、感動的である。

しかし、そうした書籍事情を一変させたのが、ドイツ人グーテンベルクの活版印刷術であった。現代の情報革命にも比せられるこの「印刷革命」によって初めて、書籍の同一コピーを多数生産することが可能になったのである。この革新的事業を進めるにあたりグーテンベルクは、それを伝統の上にうちたてることに腐心した。すなわち、グーテンベルクの活版印刷は、修道士たちが書いた美しい手書きの書体を踏襲したものであり、写本と同様、芸術的な挿絵や装飾文字も取り込まれたのである。伝統と革新のコンビネーションといえよう。それは、修道院の物語からおよそ1世紀後の15世紀半ばのことであった。

この頃のヨーロッパには、既に各地に大学が成立していた。これらの大学には図書館が備わり、図書館は知識を保存する場から、広く知識を供給する場へと変化していった。私がかつて宗教改革史研究のため留学していたドイツのゲッティンゲン大学は、それからおよそ3世紀後の18世紀前半に設立された。神学部が大きな力をもった中世以来の古い大学と異なり、ここは啓蒙の精神に立つ、近代の新しい大学の先駆けとなった1つである。それでも、初期の中世の大学の多くが、教会や修道院の付属学校に起源をもつように、ゲッティンゲン大学も旧市街の修道院の建物から出発した。その時、図書館もそこに一室を与えられたのであった。

その後ゲッティンゲン大学は発展を続け、やがて旧市街外縁には、広大なキャンパスも建設されていくことになる。しかし、大学図書館は旧市街の修道院の建物に留まり、図書館の拡張にともない、さらに石造りの重厚な建物がそこに増築されていった。このゲッティンゲン大学図書館の発展を、蔵書目録の変遷でたどるとおもしろい。

18世紀に始まる最初の蔵書目録は「冊子目録」であった。アルファベット順の著

者名に従って作られたこの冊子型の目録は多くの分冊から成り、新しい蔵書が加わると、図書館司書たちの手で、ページ下の余白にその情報が加筆されていったのである。私が留学していた頃、蔵書目録の大半はもちろん、タイプライターで印字された1枚単位の「カード目録」だったが、古い蔵書はこの冊子目録から探さなければならなかつた。それは中世の写本のように厚い革表紙に覆われ、両手でようやく持ち上げられるほどの、古色蒼然とした大きな冊子だつた。ある時友人が言った。「あの冊子目録の中にはグリム兄弟の書いた文字があるよ」。『グリム童話集』を編纂したグリム兄弟は、19世紀前半、ゲッティンゲン大学の教授であると同時に大学図書館の司書も兼ねていたのである。「グリムの文字」を追いながら、時に判読困難な筆記体に辟易したこと、今となってはなつかしい思い出である。

その後、ゲッティンゲンの大学図書館はキャンパス内に建設されたモダンな新「中央図書館」に移転し、蔵書目録の電子化が進むと、冊子目録もカード目録もいつのまにかそこから姿を消していった。今は「オンライン目録」だけが頼りである。一方、旧市街の大学図書館は、現在は「歴史的建造物」と呼ばれ、今なお大学図書館の一部として、その伝統と風格を保っている。上述の冊子目録も、この図書館のどこかに保管されているにちがいない。図書館の歴史には、伝統と革新が寄り添っている。

パリのノートル・ダム大聖堂もまた、中世から受け継がれてきた聖堂建築の職人芸に、21世紀の最先端の技術を取り入れて、炎上前のあの莊厳な姿を、やがて私たちの眼前に甦らせてくれるだろう。



ゲーテンベルクのラテン語「42行聖書」(1455年頃、マインツ)高宮利行他『図説本と人の歴史事典』柏書房、1997年、口絵、91頁。

## 選書ツアーを開催

9月3日(火)、丸善丸の内本店にて、2019年度「学生選書ツアー」を開催しました。

学生選書ツアーは、図書館に置きたい本を書店で直接選んでいただく企画です。

当日は7名の学生の皆さんと、前田館長、図書館職員3名が参加しました。学生が選書した図書は図書館での所蔵等を確認し、重複分を除いた約150冊を購入しました。

購入した本は、選書ツアーに参加した学生が作成した本の紹介のPOPとともに中央図書館で展示され、貸し出しあります。



### ◆選書された本のリスト(一部)◆

- 『演劇vs. 映画～ドキュメンタリーは「虚構」を映せるか～』
- 『文系プログラマーのためのPythonで学び直す高校数学』
- 『軍事と政治 日本の選択～歴史と世界の視座から～』
- 『オスロからイラクへ～戦争とプロパガンダ2000～2003～』
- 『ミクロネシア学ことはじめ <魅惑のピス島編>』
- 『黄色いベスト運動～エリート支配に立ち向かう普通の人びと～』
- 『文芸オタクの私が教えるバズる文章教室』
- 『時間は存在しない』
- etc.etc....

### ＜参加学生の声＞

◇「丸の内」という東京の中心にある書店を見学できたことで、大学の図書館や八王子の書店では目にしない図書や資料も見ることができ、大変啓発されました。

◇たくさんの本に囲まれて、時間をかけてじっくり考える時間を持つことができました。普段見慣れない分野にも接することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



# 創価大学図書館指針制定 15 周年記念展示会



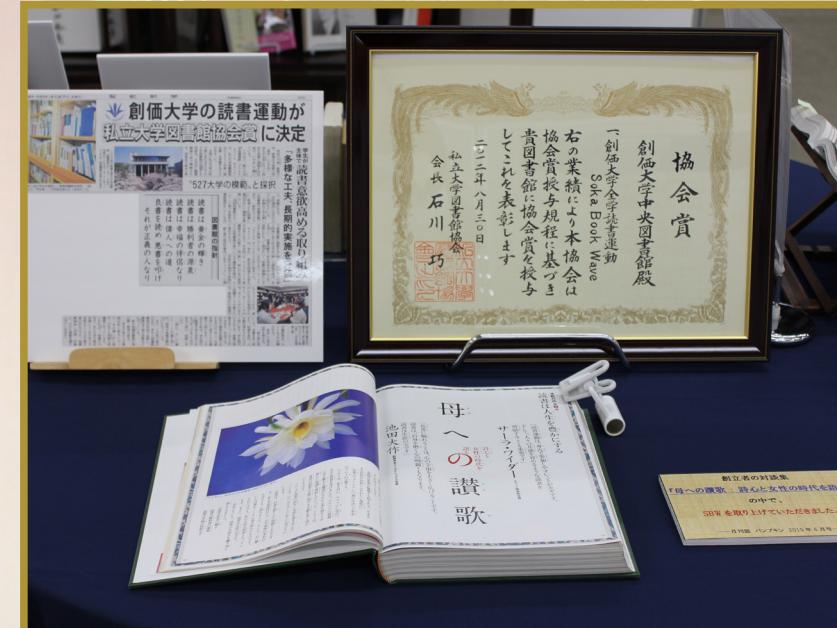
## 図書館指針制定 15 周年記念展示会を開催

中央図書館では、「創価大学図書館指針制定 15 周年」を記念して展示会を開催しました  
(開催期間: 2019年10月5日～31日)。

創立者 池田大作先生は、2004年1月22日に中央図書館を訪問してくださいり、試験勉強をしていた多くの学生を激励し、数々の箴言を贈られました。そして、その中の5つが「創価大学図書館指針」

として、万代にわたる図書館の原点として永遠に刻まれるものとなりました。

今回の展示会では、「創価大学図書館指針」制定の経緯を振り返るパネル展示や創立者が創価大学に寄贈された「池田文庫」に所蔵する貴重書等を展示し、「創立者の激励」と「学生の挑戦」によって、本学の読書運動の伝統が築かれていることを紹介しました。



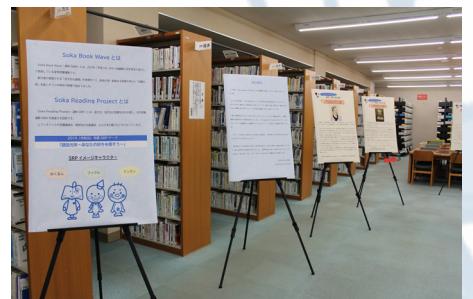
# Library information 2019 AUTUMN-WINTER

## 創大祭×読書展 開催

10月5・6日に創価大学で第49回創大祭が開催され、中央図書館では Soka Reading Project 主催による読書展を開催しました。

### ■展示

人が文字を発明して以来、数えきれないほどの本が執筆され読まれてきました。「私はこの本を読んで、将来の目標が決まった！」など、一人の人生を変える本もあれば、世界を大きく変えるほどの影響力を持つ本もあるでしょう。今年の読書展では「世界を変えた本」をテーマに、経済、宗教、教育など、歴史上世界に大きく影響を与えた本について、その内容に注目して紹介しました。



取り上げた作品は以下の8作品です。

| 作品名                                    | 著者      | 配架場所                         |
|--|---------|------------------------------|
| 『アンクル・トムの小屋』                           | ストウ     | 中央 3F 939.13/St 7 他          |
| 『エミール』                                 | ルソー     | 中央 文庫 B-1/371/R 76 他         |
| 『ガリア戦記』                                | カエサル    | 中央 3F 232.4/C 11 他           |
| 『グーテンベルク聖書』<br>(参考文献:『さまよえるグーテンベルク聖書』) | (富田 修二) | (中央 閉架 022.33/To 58)         |
| 『孫子』                                   | 孫子      | 中央 エンカレッジ文庫 EC-7/Biji/11-1 他 |
| 『天体の回転について』                            | コペルニクス  | 中央 閉架 443.9/C87              |
| 『人間失格』                                 | 太宰治     | 中央 SBW 緑 913.6/D 49          |
| 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』                | ウェーバー   | 中央 文庫 B-1/331.5/W 51 他       |

いずれの本も、創価大学内の図書館で読むことができます。

### ■ビブリオバトル

読書展の開催と併せて、中央図書館のブラウジングルームでビブリオバトルが行われました。ビブリオバトルとは、バトラー同士がお気に入りの本を持ち寄り参加者へその本の魅力を伝えて、一番読みたくなつた本をチャンプ本として決める書評バトルです。

読書展のビブリオバトルでは、Soka Reading Project の3人がバトラーとなってお気に入りの本をプレゼンしました。投票の結果チャンプ本に選ばれたのは、はやみねかおる著『魔女の隠れ里』でした。

興味のなかったジャンルの本でも、意外な魅力に気付かされるのがビブリオバトルの面白さの一つでもあります。機会がありましたら、ぜひビブリオバトルを観戦してみてください！

ビブリオバトルで紹介された図書：

はやみねかおる著『魔女の隠れ里』(所蔵なし)。

斜線堂 有紀著『不純文学』(所蔵なし)。

佐藤 亜紀著『パルタザールの遍歴』(中央 エンカレッジ文庫 EC-1)



### 「本の読み方セミナー初級」開催

9月20日(金)、「SPACe 日本語ライティングセンター×図書館 連携プロジェクト」の一環として、佐藤広子准教授を講師に、「本の読み方セミナー初級編」を開催しました。(中央図書館ラーニング・コモンズにて)。

今回の読書イベントは、本を読むことを苦手に感じている方、読み方のコツを学んでみたい！という方などに向けて、読書会 "Read For Action" をモデルに開催。参加者は『才能が目覚めるフォトリーディング』(中央 019/Y 24)、『論理的に読む技術』(中央 817.5/F 85) などの読書法に関する7冊の中から1冊を選び、目次や前書きなどから本の内容を予測して著者になったつもりで本のプレゼンを行いました。

本を単に読むだけではなく、読解力も培えるセミナーとなっており、このような読書に関わるセミナーをこれからもどんどん行つていきますので、興味のある方はぜひご参加ください！



## 中央図書館 開館日程

通常開館時間

8:30 ~ 21:00

休館

8:30 ~ 21:00

9:00 ~ 21:00

10:00 ~ 17:00

11月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |

12月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |

1月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 29 | 30 | 31 | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |

### 冬期長期貸出しのお知らせ

大学の冬季休業に伴い図書館では長期貸出が始まります。

「いつも2週間では読み切れない！」という方もこの機会に、温かい部屋でゆっくりと読書タイムを作つてみるのも素敵かもしれませんね。

#### 長期貸出期間

2週間貸出者：学部生・短大生

12月10日（火）～12月24日（火）

4週間貸出者：教職員・大学院生・通教生・創友会・市民利用

12月10日（火）

一斉返却日 2020年1月8日